

【課題】・感性を働かせ、他者とかかわり合いながら音楽表現を生み出すこと。  
 ・生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化について関心や理解を深めていくこと。

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふさわしい教材を取り上げ、〔共通事項〕の内容を計画的・継続的に取り込む。</li> <li>・小学校で学んだことを確認し、楽譜を読んで楽曲分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔共通事項〕についてカードを使いわかりやすく説明する。</li> <li>・歴史・文化や作曲者の思いや意図と関わらせて楽曲分析することで興味・関心を高める。</li> <li>・小グループで話し合っ分析し、発表することで音楽に対する価値意識を広める。</li> </ul>	表現領域
小学校5・6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と、音楽を形づくっている諸要素や音楽の構造との関わりに気付き、思いや意図をもって音楽を聴いたり、表現したりする。</li> <li>・各国の音楽文化について関心や理解を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいに合った魅力ある選曲をし、歌詞の読み取り、作詞者の気持ち、作曲者の意図等を読み取れるよう丁寧に指導していく。</li> <li>・音楽的要素と曲想との関連を考え自分なりに音楽を価値付けしながら聴くように働きかける。</li> <li>・1つの題材で学ぶべきことを明確にし、領域や分野を組み合わせた学習を展開できるよう構成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人の思いを引き出す表現活動の工夫をする</li> <li>・仲間と合わせる心地よさや、ハーモニーを通して自己有用感を味わい、互いに関わり合いながら感性を磨いていけるようにする。</li> <li>・世界各地の音楽文化に関心を持ち、理解を深めるため、映像を活用したり、や特有の文化について調べたりする。</li> </ul>	鑑賞と関連付けて学ぶ各表現領域
小学校3・4年生	音楽を形づくっている諸要素と楽曲の特徴を関わらせて、すすんで音楽表現をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲に取り組む際に、階名唱をしたり楽譜の読み方を確認したりする時間を設ける。</li> <li>・スモールステップでの繰り返しで、過度な負担がかからずともリズムや拍感等、基礎が身に付くよう常時活動を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でものびのび表現できるようにフレーズごとに歌ったり、演奏したりする。技能面の定着を図るため、まめに見取るようにする。</li> <li>・友達と関わり合いながら学べるように学習形態を工夫する。</li> </ul>	歌唱表現領域 新出のリコーダー
小学校1・2年生	音楽を形づくっている諸要素に実際の曲の中で気付き、楽しく音楽表現をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて体を動かす活動を通して体全体で音楽を感じ取る経験を積み、拍の流れや速さ等に気付けるよう指導する。</li> <li>・自分のイメージに合った歌い方を工夫していくなかで、強弱や速さなどを変え演奏させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いと答えを抽出して取り上げ、それぞれが違った体の動きになることなど、音楽の特徴の違いを聴き取る。</li> <li>・グループで歌ったり、リズムを作ったりして、仲間と表現を考えるなかで、同じ曲や場面でも形づくっている諸要素を変化させることで異なる表現になる面白さを味わわせる。</li> </ul>	表現領域